

事業名：大月川源流部を猛禽類の住処に 団体名：上総自然学校

目的

山を整備して、鷹、フクロウが営巣できるようにする。併せて、田んぼ、水路、整備も進め、田んぼのオタマジャクシを食べたヘビを鷹が狩るような環境を整え、生態系の最下部から最上部の生き物の住処を作る。

内容

谷津田最上部の笹刈りや水路整備を進め、山からの水の供給を安定させることで、水路や田んぼに住むトウキョウサンショウウオなどを増やす。

より多様な植物が芽を出すよう落ち葉かきを行う。集めた落ち葉は堆肥にし、カブトムシの幼虫の住処にもなっている。

セキレイや四十雀用の小さい巣箱と、フクロウ用の大きい巣箱を設置した。農作業、山作業のイベントでも生物観察の時間を作り、生き物と人の経済活動（農作業、山作業）との関係を実感してもらった。

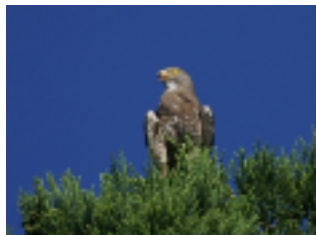
自然観察会を開き、様々な生き物に触れ、生物多様性を体感してもらった。観察会などの安全確保も兼ねて、農道の整備を行った。

今後の方針

休耕田を田んぼに戻す作業を続け、また、その田んぼも農薬化学肥料の使用を避け、食糧生産だけでなく、多様な生物の住み処とする。

田んぼと裏山を遊歩道で回遊できるようにし、フィールドの全体像が感じられるようにする。

田植え、稲刈り、観察会などのイベントを継続して行っていく。



サシバ



茅ネズミの巣

団体概要

様々な理由で休耕田になった田んぼを耕作可能な田んぼに戻し、有機栽培することで、水路や田んぼの周りの築（やな）及び水源になる山の整備をして、そこに住むいろんな生き物の住処を提供できるよう活動している。

田植え、稲刈り、観察会などのイベントでは、生き物とふれあえる機会を求めて、都会からたくさんの参加者がやってきました。

これまでの主な活動

- ・休耕田や農用林の再生
- ・水生生物や猛禽類の住処作り
- ・市進学院キッズフィールド受け入れ
- ・農林業体験イベント実施
- ・観察会実施



作業の様子



参加してくれた皆さん

住所：千葉県袖ヶ浦市川原井 634-1 真光寺内

電話：0438-75-7414（真光寺） 代表者：岡本 和幸

Mail：t-ueda@shinko-ji.jp HP：http://www.shinko-ji.jp/satoyama/